**別紙様式４**（用紙Ａ４)

（単体有資格者）

**工　事　成　績**

徳島大学（南常三島）先端融合情報学大空間実験棟新営工事（再公告）

会社名：

**１．工事成績の平均点**

以下の様式に従い，工事成績について，工事成績評定の完成日を基準として，年度毎に平均点を算出する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 発注機関：工事成績相互利用登録発注機関 | 令和５年度 | 令和６年度 | 合　計 |
| ａ：各年度の工事件数 | ａ1 | a2 | ａ1+ａ2 |
| ｂ：各年度の工事成績の合計点数 | ｂ1 | ｂ2 | ｂ1+ｂ2 |
| X：各年度の平均点X＝ｂ／ａ | X１ | X2 |  |
| ｙ：過去２年間の平均点  ｙ＝（ｂ1+ｂ2+b3）／（ａ1+ａ2+a3） |  | | |

注１　工事成績相互利用登録発注機関の実績がない場合は「無し」と記入すること。

注２　各年度の平均点及び過去２年間の平均点の算出にあたっては，小数点以下第２位を四捨五入する。

注３　工事成績評定の通知書の写しを年度毎に整理して添付すること。

**２．工事の品質に関わる重大な問題の有無**

以下の様式に従い，文部科学省，所管独立行政法人及び国立大学法人等に，過去２年間に完成・引渡しを行った工事目的物で，引渡し後に工事の品質に関わる重大な問題が発生した事例についての有無を記載すること。また，判断できない事例がある場合は，有・無欄は選択せず，その事例について具体的かつ簡潔に記載すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 重大な問題が発生した事例 | 有　・　無 |

○事例

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 工事名 |  | | | 発注者 | |  |
| 完成年月日 | | 令和　年　月　日 | 引渡年月日 | | 令和　年　月　日 | |
| 具体的な内容（発生時期，発生場所，内容，原因，対応状況等） | | | | | | |
|  | | | | | | |

注１　「重大な問題」とは，以下のア）～エ）に記載する事項である。

ア）　重大な人的被害を生じた事故がある場合

イ）　重大な人的被害を生ずる蓋然性の高い物的事故が発生したことがある場合

ウ）　ア）又はイ）の事故を生ずる蓋然性の高い工事目的物の欠陥が発見された場合

エ）　上記の他，安全性に係る不具合が，数ヶ月にわたり改善されず繰り返された場合

注２　「所管独立行政法人及び国立大学法人等」とは，入札説明書の別表1に記載する機関をいう。

**別紙様式５**　　　　　　　　　　　　　（用紙A４）

**配置予定技術者の資格，同種工事の施工経験及び工事成績**

（徳島大学（南常三島）先端融合情報学大空間実験棟新営工事（再公告））

会社名：

１．配置予定技術者の資格，同種工事の施工経験

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | | 主任・監理技術者　　○○○○ | |
| 法令による資格・免許 | | （例）１級建築施工管理技士（取得年及び登録番号） | |
| 同種工事の  判断基準 | | 平成２２年度以降に、元請として完成・引渡が完了した次の要件を満たす同種工事の実績を有すること（共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が２０％以上のものに限る。）ただし，経常建設共同企業体にあっては，経常建設共同企業体又は構成員のうち一者が同種工事の施工実績を有すること。  構　造：Ｓ造，ＲＣ造又はＳＲＣ造  規　模：３階建て以上（面積は問わない）  内　容：新営工事  用　途：公共施設もしくは教育施設，研究施設 | |
| 工事経験の概要 | 工事名称 |  | |
| 発注者名 |  | |
| 施工場所 | （都道府県名・市町村名） | |
| 契約金額 | （円） | |
| 工期 | 平成　　年　　月　　日　　～　平成　　年　　月　　日 | |
| 受注形態等 | 単体　／　共同企業体　（出資比率　　　　％） | |
| 従事役職 | 現場代理人・監理技術者・主任技術者　等 | |
| 建物用途 |  | |
| 構造・階数等 |  | |
| 建物規模 | （㎡） | |
| 工事内容 |  | |
| **工事成績** | **(点)** | |
| CORINSへの登録 | 有（CORINS登録番号）・無 | |
| 申請時における他工事の従事状況等 | | 工事名 |  |
| 発注機関名 |  |
| 工期 | 令和　　年　　月　　日～令和　　年　　月　　日 |
| 従事役職 | 現場代理人・監理技術者・主任技術者　等 |
| 本工事と重複する場合の対応措置 | 例）本工事に着手する前の○月○日から後片付け開始予定のため本工事に従事可能。 |

注１　法令による資格・免許については，**それを有することが確認できる免許等の写しを添付**すること。

注２　配置予定技術者の同種工事の経験については，平成２２年度以降かつ申請書及び資料の提出期限の日までに工事が完成・引渡しが完了しているものに限り記載すること。

**また，併せて工事の施工経験として記載した工事に係る契約書及び当該技術者が従事したことを判断できる資料（財団法人日本建築情報総合センターの「工事実績情報サービス（ＣＯＲＩＮＳ）」に竣工登録されている場合は，ＣＯＲＩＮＳの記載部分の写し）及び記載した工事の内容が判断できる平面図等の資料の写しを提出すること。**

**注３　工事成績については，同種工事の施工経験にあげた工事が，令和３年度（過去４年度）以降に完成したものでありかつ、主任（監理）技術者又は現場代理人として従事した工事であれば，その工事成績を記載する。また，併せて工事成績評定通知書の写しを提出すること。（詳細は入札説明書参照）**

注４　申請時における他工事の従事状況は，従事している全ての工事について，本工事を落札した場合の技術者の配置予定等を記入すること。

**注5　複数名を申請する場合は，個々に記載・提出すること。**